



1 たまり場・たろう

サロン運営団体名称 たまり場・たろう



1 筑西市

開催日及び開催頻度

月15回(日・月・水・木・金・土曜日)
12:00~16:00

開催拠点 たまり場・たろう

代表者氏名 小松崎 登美子

1回の参加人数 10人~15人

参加費(1人1回あたり) ※内容によって異なる。

広報方法
●ホームページ(随時)
●筑西市の広報誌(随時)



開催地域の様子

- 駅前大通りから2本裏に入った人通りの少ない道路沿いの戸建てで、空き家や空き地が目立つ地域です。
- 市街地ではあるが店舗も少なく、高齢者のひとり住まいも多くなって来ています。

サロンに取り組む動機・サロンの将来像

- 介護保険制度が施行される以前のスタートでしたので、介護者のリフレッシュを願っての活動開始でしたが、すべての世代がふれあう中での居場所こそ自然体で、人がつながることを確信。県内がたまり場ネットでつながることを期待しています。



サロン運営上の協力者



- いる
- はんどちゃんネットワークに関わる全ての方々
- サロン参加者

連携先・協働先



- 市社会福祉協議会の「ボランティア連絡会」や市の「市民団体連絡協議会」、「チーム井戸端」などのメンバーとイベントの共催や話し合いでつながっています。



運営費の確保方法

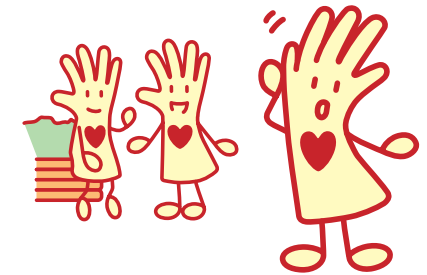


- 参加費と市社会福祉協議会(年間5万円)、県社会福祉協議会(年間7万円)等を充てています。

サロンのウリ



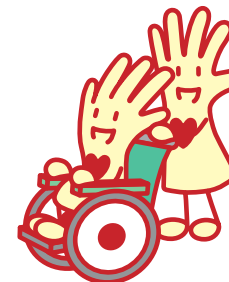
- 一般市民が無償講師として協力。今回の助成金で設置したレンタルボックスも、80代の2人の女性の方の意見から実施することになるなど、集う方々の声をキャッチして運営に反映させています。



団体やサロンのPRポイント



- 市内の多様な活動団体の交流や、地域づくりの市の事業である生活支援体制整備事業(「チーム井戸端」)の全体の交流などを、たまり場カフェの開催によって推進しています。
たまり場の無限の可能性を実感しています。



◆助成金の活用によりパワーアップした活動

◆サロン活動で使える豆知識

◆サロン活動の醍醐味

など、これからサロン活動を予定している方へのメッセージ



- 助成金で「ふ・ふ・ふのBOX(レンタルボックス)」を設置しました。ここへの作品提供者(80代のグループ)が、ふれあい食堂のスタッフとして、又、ゲストとして参加するようになったり、闘病中の方が社会とのつながりの接点として、励みになる作品作りを進めて頂いたり、ポジティブな展開を実感しています。